

なぜ上下水道について考えるの？

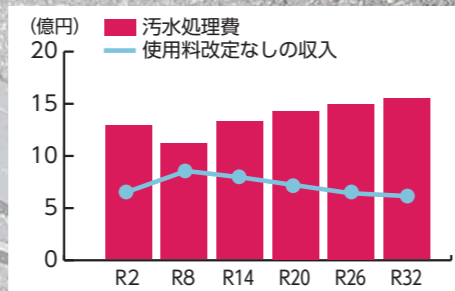
上下水道を未来へつなぐためです。近年、料金収入の減少や維持管理費の増加など、大きな課題が生じています。将来にわたり、持続可能で安定したサービスを提供し続けるため、当市では今後10年間の経営の基本方針となる「経営戦略」を令和8年3月に改定しました。今後も、この経営戦略に基づき、水道料金・下水道使用料の見直しを含む、経営の効率化・健全化に向けた取り組みを進めていきます。

下水道

問合せ 市庁舎本館 2階下水道業務課 Tel.0897-52-1568

① 毎年赤字経営

当市の使用料は県内11市で最も低く、汚水処理費の約57%しか賄えていません。そのため不足分を一般会計（市税など）からの繰入金に頼っている状態です。



② 収入のさらなる減少

人口減少により、今後は使用料収入がさらに落ち込むと予測されています。

③ 膨大な改築更新費用

施設や管渠の改築更新に、今後10年間で約181億円、30年間では約810億円という膨大な更新費用が見込まれています。

① 使用料改定

令和16年度に経費回収率100%（自立した経営）を達成するため、3年ごと（令和10・13・16年度）に改定を行います。一般会計（市税など）からの繰入金を無くすことを目指します。

② 施設の改築更新

施設の長寿命化と並行して、耐震化・耐水化を計画的かつ効率的に進め、今後10年間の投資額を約96億円に圧縮する見通しです。

実際に水道料金・下水道使用料の改定を行う際は、経営状況を分析し、使用料等審議会の意見を聞いた上で、議会に諮り、適切な時期や改定率を決定します。

計画の詳細は▼



課題は？
いまの

計画は？
これからの

上水道と下水道の「いま」と「これから」

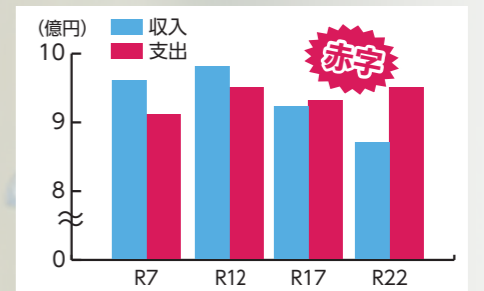
定期的に見直しを行う水道料金・下水道使用料について詳しく解説します。

上水道

問合せ 市庁舎本館 2階水道業務課 Tel.0897-52-1352

① 料金収入の減少と見込み

人口減少に伴い、令和4年度以降、料金収入が減少傾向にあります。物価高騰の影響もあり、現状のまま推移すると、令和17年度から赤字に転落する見通しです。



② 高い借入金割合

類似団体と比較して、料金収入に対する借入金残高の割合（企業債残高対給水収益比率）が高くなっています。

③ 膨大な更新費用

施設や水道管の更新に、今後30年間で約666億円という多額の費用が必要とされています。

① 料金改定

赤字回避と資金確保のため、令和8年6月請求分からの料金改定後、4年ごと（令和12・16年度）にそれぞれ8%程度の料金改定を計画しています。

② 借入金（企業債）

必要な資金を確保するため、借入金の充当率を現在の約50%から、令和8年度に60%、令和12年度には70%へと段階的に引き上げます。

③ 施設更新

実際の使用状況に基づいた更新時期に見直すことで、今後30年間の費用を約497億円まで抑制し、経営の安定化を図ります。

計画の詳細は▼

